

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

気仙沼大島ウェルカムターミナルで勉強会を開催（気仙沼地方振興事務所農業振興部）

令和4年10月20日、気仙沼大島ウェルカムターミナル産地直売所を運営する大島地場産品出荷組合を対象に、売上の向上等を目的とした勉強会を開催しました。

勉強会では、(有)ベネットの青木代表を講師に招き、講師がこれまで携わった全国の道の駅や農産物直売所の改善事例を基に、直売所の経営改善や売上増加に向けたアドバイスをいただきました。

その後、組合員間でワークショップを行い、「もっと賑わいが欲しい」や「新鮮な農産物を揃えたい」、「大島らしさを出したい」などの改善に向けた多くの提案が出されました。

当部では、関係機関と連携し、今回出された提案を整理しながら、引き続き気仙沼大島ウェルカムターミナル産地直売所の経営改善を支援していきます。



勉強会の様子



産地直売所の店内

「枝もの用クロマツ」栽培研修会を開催（気仙沼地方振興事務所農業振興部）

令和4年10月24日、「枝もの用クロマツ」の生産振興を図るため、収穫調製作業見学・栽培研修会を南三陸町で開催しました。

研修会には、県内クロマツ栽培者や栽培希望者等37名が参加。クロマツの収穫作業や収穫後の調製作業、保管作業の各工程について、生産者である(株)南三陸 Pine Pro（南三陸町）から説明いただき、参加者からは、出荷時の作業等に関する多くの質問が出されました。

実際に収穫されたクロマツを教材に、枝葉除去作業や規格選別作業を見学したことで、参加者の理解も深まったようです。

(株)南三陸 Pine Pro では、平成30年から正月飾り等に利用される「枝もの用クロマツ」の生産を開始しており、今年も10月19日から収穫が始まり、12月上旬まで収穫が行われました。



機械収穫作業を見学する参加者



枝葉を除去する調製作業の説明

「気仙沼市産業まつり」でサメのPR (気仙沼地方振興事務所水産漁港部)

気仙沼港はサメの水揚量日本一を誇り、フカヒシの生産地として全国的にも有名です。しかしながら、^{ひげ}鰻以外の肉は大部分が「はんぺん」の原料に使われているのみで、地元でもほとんど料理などで消費されることはなく、市場でも低価格で取引されているのが現状です。

このことから近海まぐろはえ縄漁業を営む「気仙沼かなえ漁業株式会社」では、サメ肉の美味しさを地元から発信することで、サメ肉の需要拡大・付加価値向上に繋げることを目的に「サメのPR」活動を行っています。令和4年10月23日（日）に開催された「気仙沼市産業まつり」においてPRの一環として「ヨシキリザメ」の展示や、「気仙沼リアス調理製菓専門学校」が考案した、「酢豚」の豚肉の代わりにサメ肉を使った「酢サメ」を試食品として提供しました。来場者からは「思っていた以上に美味しい」、「サメ肉のイメージが変わった」など大変好評でした。



ヨシキリザメに触れる子ども



「酢サメ」の配布

漁業士会北部支部が「子ども食堂」で魚食普及 (気仙沼地方振興事務所水産漁港部)

宮城県漁業士会北部支部では、子どもが食卓で魚を食べることを身近に感じ、併せて地元で獲れる水産物の魅力を知るきっかけになればという思いから、地域で「子ども食堂」を展開している、(一社) 気仙沼あそびーばーの会と連携して、令和4年11月23日（水）に魚食普及活動（サバ編）を実施しました。

当日は、27名の子どもたちが参加し、サバに関するミニ講座や生き物をデザインしたオリジナルの缶バッジを作製しました。特に缶バッジ作りでは1人で2個、3個作る子もいて大変好評でした。また、漁業士が水揚げした「サバ」を「気仙沼リアス調理製菓専門学校」に協力いただいて「サバサンド」に調理してもらい、子どもたちに振る舞いました。子どもたちは「美味しい」と言って嬉しそうに食べていました。今後もシリーズ化して、子どもたちに地元の魚介類を使った美味しい料理を食べる機会を創出していきたいと思えます。



気仙沼リアス調理製菓専門学校
蛭原校長先生によるミニ講座



缶バッジ作り



サバサンド

愛鳥モデル推進校の活動について（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

宮城県では、児童生徒を対象に、野生生物保護意識の普及啓発を図ることを目的として、愛鳥モデル推進校を設定しており、気仙沼管内では現在までに小学校6校に対して普及活動を行ってきました。

令和4～5年度は、南三陸町立入谷小学校を対象に、野鳥の基礎知識、野鳥に関する木工工作、探鳥会を実施する計画としており、初回取組みとして2年生児童（6名）を対象に「鳥」への基礎知識を学び・理解を深める「野鳥教室」を10月6日に開催しました。

身近な野鳥の写真、鳴き声や特徴をクイズ形式で出題すると、難無く回答しており、子供たちにとっても身近な鳥として知識が備わっていると感じました。

11月には木工工作が行われ、1月は探鳥会を予定しています。



「野鳥教室」の状況

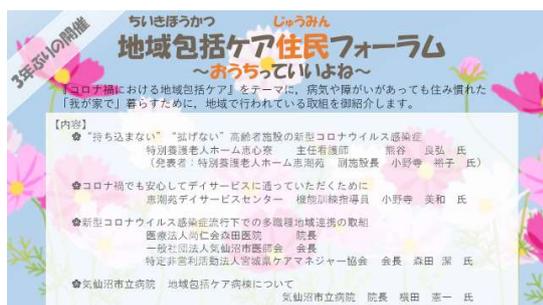


野鳥教室時のお約束

地域包括ケア住民フォーラムを開催しました（気仙沼保健福祉事務所）

令和4年11月26日（土）、在宅療養を広く普及啓発することを目的に、『地域包括ケア住民フォーラム～おうちっていいよね～』を開催しました。本フォーラムは、気仙沼地区地域医療委員会が主催、管内市町・医師会ほか関係団体の共催により、平成25年に始まり、8回目となります。今回は『コロナ禍における地域包括ケア』をテーマに、森田潔氏（森田医院院長）、横田憲一氏（気仙沼市立病院院長）、小野寺裕子氏（特別養護老人ホーム恵潮苑）、小野寺美和氏（恵潮苑デイサービスセンター）より、高齢者施設における感染対策の実践例や気仙沼・南三陸地域の地域包括ケア構築に向けた取組をお話ししていただきました。新型コロナウイルス感染症対策のため、会場を3カ所に分けて開催したほか、事前に申し込まれた方に後日配信しています。

当日の様子は、気仙沼保健福祉事務所内のホームページでも御紹介しています。



地域の「今」についてお話をいただきました



登壇者のお話からたくさんの学びがありました

名足歩道設置事業が完了しました (気仙沼土木事務所)

本吉郡南三陸町歌津字名足地区で平成29年度から事業を進めてまいりました名足歩道設置事業については、令和2年8月から工事に着手しており、このたび令和4年9月30日に全線の供用を開始し、10月17日に全ての工事が完了しました。

南三陸町立名足小学校の前後420m区間を2車線化し、そのうち約260mに歩道を整備しました。

付近の皆様や当該区間をご利用いただいている皆様には長い間ご不便・ご迷惑をおかけしておりましたが、今回の整備により、道路拡幅・線形改良による利便性の向上と2車線化と歩車道の分離による安全性の確保が図られました。



位置図 (南三陸町歌津字名足)



完成区間状況

地場産品直売会を開催しました

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

令和4年12月2日(金)に気仙沼合庁で地場産品直売会を開催しました。

気仙沼リアス調理製菓専門学校さんと椎彩杜さんの2事業者にご出展いただき、両事業者ともにあっという間に完売となりました！出展いただいた皆さん、ご購入いただいた皆さんありがとうございました。

次回は令和5年2月3日(金)を予定していますのでぜひお越しください☺



リアス専門生が直接販売



椎彩杜さんの菌床しいたけ

気仙沼・南三陸のお酒を楽しむ宿泊ツアーを開催しました

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

気仙沼・南三陸のお酒と地元の美味しい海の幸が楽しめる1泊2日のバスツアーを開催しました。

令和4年12月14日(水)～15日(木)に開催した気仙沼市内のツアーでは、参加者の皆さんが男山本店の日本酒やBLACK TIDE BREWINGのクラフトビールを試飲し、銘柄ごとの味の違いを堪能したり、「推し」の味を見つけたりして楽しめました。

令和5年2月に第2弾を開催することとし、現在募集中です。この機会にぜひお越しください。



男山本店



BLACK TIDE BREWING